⑵　外国為替資金特別会計（別表３参照）

外国為替資金の収支は、前年同期の5,266億円の受取超過から、２兆335億円の支払超過となった。収入は、前年同期（３兆6,056億円）に比べ、6,802億円減少して２兆9,254億円となった。一方、支出は、前年同期（３兆790億円）に比べ、１兆8,799億円増加して４兆9,590億円となった。

⑶　その他の特別会計等

その他の特別会計等の収支のうち、主な項目についてみると次のとおりである。

社会資本整備事業の収支は、収入2,527億円、支出6,134億円、差引き3,608億円の支払超過であって、前年同期（3,071億円の支払超過）に比べ、537億円支払超過額が増加した。

保険の収支は、収入11兆2,638億円、支出11兆7,149億円、差引き4,511億円の支払超過であって、前年同期（4,955億円の支払超過）に比べ、444億円支払超過額が減少した。

３　国債等・国庫短期証券等

△印は支払超過（単位　億円）

区分	平成25年度第２・四半期 発行(借入)	償還	差引き	前年同期 発行(借入)	償還	差引き
国債等	362,711	184,189	178,523	335,011	188,104	146,907
国債(１年超)	351,237	175,037	176,200	325,925	185,018	140,907
借入金	11,474	9,152	2,322	9,086	3,086	6,000
国庫短期証券等	1,163,295	976,515	186,780	1,116,346	1,131,514	△ 15,168
国庫短期証券	1,058,295	871,515	186,780	1,000,845	1,016,689	△ 15,843
一時借入金	105,000	105,000	0	115,500	114,825	675

国債等及び国庫短期証券等の発行（借入）・償還状況は、上表のとおりである。

国債等の収支は17兆8,523億円の受取超過であって、前年同期（14兆6,907億円の受取超過）に比べ、３兆1,615億円受取超過額が増加した。国債（１年超）の収支は、発行35兆1,237億円、償還17兆5,037億円、差引き17兆6,200億円の受取超過であった。借入金の収支は、借入１兆1,474億円、償還9,152億円、差引き2,322億円の受取超過であった。

国庫短期証券等の収支は、前年同期の１兆5,168億円の支払超過から、18兆6,780億円の受取超過となった。国庫短期証券の収支は、発行105兆8,295億円、償還87兆1,515億円、差引き18兆6,780億円の受取超過であった。一時借入金の収支は、借入10兆5,000億円、償還10兆5,000億円、差引き０億円の受取超過であった。

（参考）　実質収支

上で述べた財政資金対民間収支は、各会計等と民間との間における収入支出（窓口収支）のみをとらえたものであるが、各会計等の収支の実態をみるため、これに各会計等相互間の収支（国庫内振替収支）を加えた実質収支を示すと、次のとおりである。

△印は支払超過（単位　億円）

区分	窓口収支 (A)	国庫内振替収支 (B)	計（実質収支） (A)＋(B)
一般会計	△ 8,502	△ 62,362	△ 70,864
特別会計等	△ 20,592	139,569	118,977
財政投融資	47,154	22,326	69,480
社会資本整備事業	△ 3,608	5,603	1,995
外国為替資金	△ 20,335	415	△ 19,921
保険	△ 4,511	2,430	△ 2,081
その他	△ 39,291	108,796	69,504
小計	△ 29,094	77,207	48,113
国債等	178,523	△ 12,167	166,356
国債(１年超)	176,200	△ 11,846	164,354
借入金	2,322	△ 320	2,002
国庫短期証券等	186,780	△ 65,040	121,740
国庫短期証券	186,780	△ 63,986	122,794
一時借入金	0	△ 1,055	△ 1,054
合計	336,209	—	336,209
調整項目	2,512	—	2,512
総計	338,721	—	338,721

第２　国庫対日銀収支（別表４及び別表６参照）

△印は支払超過（単位　億円）

区分	平成25年度第２・四半期	前年同期
国庫短期証券の発行・償還(△)	△ 196,128	△ 5,342
特別会計の債券売・買（△）	△ 76,073	△ 62,382
財政投融資	△ 48,110	△ 21,250
国債整理基金	△ 27,963	△ 41,132
その他	△ 65,334	△ 70,954
計	△ 337,535	△ 138,679

期中における国庫対日銀収支（＊５）は、上表のとおり、33兆7,535億円の支払超過であって、前年同期（13兆8,679億円の支払超過）に比べ、19兆8,857億円支払超過額が増加した。

その内容についてみると次のとおりである。

１　国庫短期証券の発行・償還

国庫短期証券の発行・償還による日本銀行との間の資金調達・資金返済状況をみると、資金調達４兆6,696億円、資金返済24兆2,824億円、差引き19兆6,128億円の支払超過であって、前年同期（5,342億円の支払超過）に比べ、19兆786億円支払超過額が増加した。

２　特別会計の債券売・買

特別会計と日本銀行との間の債券売買の状況をみると、７兆6,073億円の支払超過であって、前年同期（６兆2,382億円の支払超過）に比べ、１兆3,691億円支払超過額が増加した。財政投融資は、４兆8,110億円の支払超過であって、前年同期（２兆1,250億円の支払超過）に比べ、２兆6,860億円支払超過額が増加した。国債整理基金は、２兆7,963億円の支払超過であって、前年同期（４兆1,132億円の支払超過）に比べ、１兆3,169億円支払超過額が減少した。

３　その他

国庫と日本銀行との間の経常収支は、６兆5,334億円の支払超過であって、前年同期（７兆954億円の支払超過）に比べ、5,620億円支払超過額が減少した。

第３　政府預金（別表５及び別表６参照）

財政資金対民間収支（33兆8,721億円の受取超過）から政府預金（＊６）の増減に関係のない調整項目（2,512億円の受取超過）を除いた収支は、33兆6,209億円の受取超過であった。また、国庫対日銀収支は、33兆7,535億円の支払超過であった。その結果、政府預金の期末残高は、前期末（１兆2,594億円）に比べ、1,326億円減少して１兆1,268億円となった。

別表１

財　政　資　金　対　民　間　収　支　実　績　表

△印は支払超過（単位　億円）

区分	7月 収入	支出	差引き	8月 収入	支出	差引き	9月 収入	支出	差引き	計 収入	前年同期	支出	前年同期	差引き	前年同期	前年同期比
⑴ 一般会計	54,705	51,227	3,478	47,130	31,895	15,235	42,569	69,783 △	27,215	144,403	137,026	152,905	137,681 △	8,502 △	655 △	7,847
租税	51,451	13,332	38,118	43,011	5,477	37,535	37,726	6,163	31,563	132,188	126,118	24,972	25,824	107,216	100,294	6,922
税外収入	2,159	—	2,159	1,731	—	1,731	1,141	—	1,141	5,031	5,082	—	—	5,031	5,082 △	52